

令和元年度 自己評価公表シート

1、本園の教育目標

道伯幼稚園

幼稚園での集団生活の中で、生涯にわたる人間形成の基礎を学びながら、人間としての健全な発達を図り、大きな能力を身に付けることを目標として、知・徳・体と心身共に調和のとれた人格を育てていく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育の質の向上に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3、本年度評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|--|--|
| ①(教育課程・指導) 建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況 | 各学年、年度始めに設定した目標を意識し、日々の保育を振り返りながら進めることができた。園の建学の精神についても、改めて職員間で共通理解を図り、カリキュラムを検討し、取り組むことができた。 |
| ②(教育課程・指導) 幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況 | この項目については、本年度の研修発表のテーマにもなっていたので、教職員間で話し合いながら取り組んできた。実際に小学校を訪問し、卒園児の様子を見たり、先生方の意見を聞くことができた。特に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」について共通理解を図った。これを幼稚園幼児指導要録にも反映させ、小学校への引継ぎの際有効に活用していきたい。 |
| ③(組織運営) 職員会議等の運営状況 | 職員の全体会議は各学期の始めと終わりに1回ずつ、主任会議と幹部会議は月1回ずつ行う事が出来た。会議の日が決まっていることで、議題について事前に準備できて良かった。各会議の内容は、議事録にも記録した。毎日の保育終了後のミーティングも、各学年の次の日の予定や、連絡事項を話し合っている。今後も、職員がそれぞれの意見を話せる場としていきたい。 |
| ④(資質向上の取組) 教職員が、園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。(個人) | 教職員が目標を持って、日々の教育活動やサービス状況の見直しや、反省をすることで、改善すべき点については各会議等も活用し、教職員間で助言し合い資質の向上に努めた。また、教師としての自覚を持ち、子ども達の良き見本となることを、一人ひとりが意識し努力できた。 |